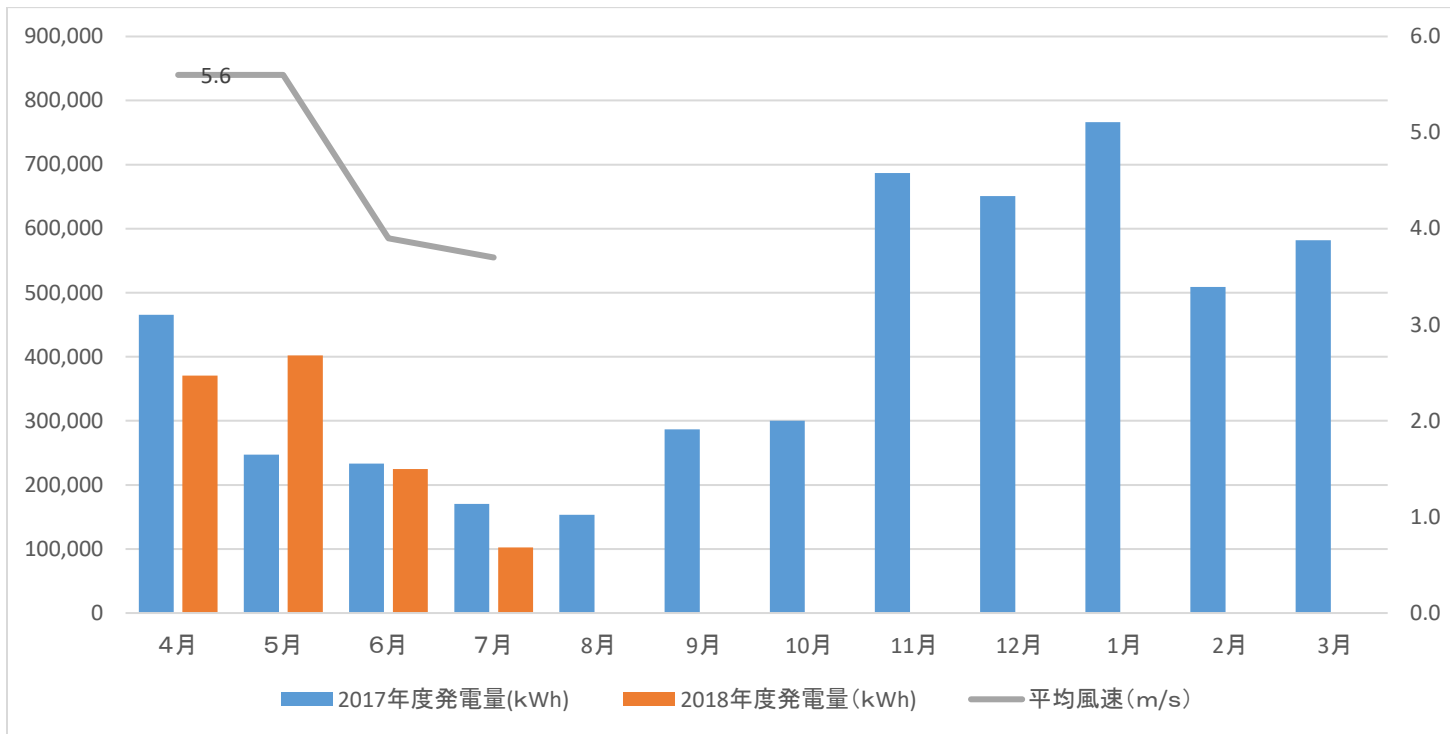


秋田県にかほ市に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉が建設した生活クラブ風車「夢風」に関するニュースをお届けします。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-6-9 大内ビル3F 一般社団法人グリーンファンド秋田

発行責任者 半澤彰浩(代表理事) 編集責任者 鈴木伸予

○ 発電実績



7月度運転状況について

- 風況は前年に比べて0.2m/s 高い実績となりました。
- 東北電力の解列要請が4日あったことと、プレート補修作業を6日間行ったことから、稼働率が76.2%と下がり、発電量も前年比60.0%となりました。

	発電量 (kWh)	平均風速 (m/s)	稼働率 (%)
4月	370,505	5.6	96.6
5月	402,151	5.6	92.3
6月	224,714	3.9	98.4
7月	102,149	3.7	76.2
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

組合員リーダーツアー実施報告

7月28日(土)29日(日)に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉の組合員リーダー対象としたツアーを開催しました。今回は、映画「おだやかな革命」を巡る旅として、秋田県にかほ市、山形県遊佐町を駆け足で回りました。折しも台風が関東に接近という中で、にかほ市、遊佐町は晴天の下、開催することができました。参加者は組合員と事務局26名、お子さん2名の計28名です。ツアーの様子を2回に分けてご報告します。今回は1日目7/28(土)の様子です。



・生活クラブ風車「夢風」を見学

生活クラブ神奈川の半澤専務、(株)市民風力発電の高橋さん、黒谷さん(写真)に、「夢風」の説明を頂きました。

タワーの高さ80m、ブレード(羽)の長さ40m、最高到達点120mの大きさにまず圧倒されます。

ナセルにはブレードと連結してギアと発電機があり、ブレードの回転数を上げて発電機を回して発電します。電気は風車の地下から隣の変電室に送られ、6600vに昇圧して、電線に流します。

また、ブレードの上には風速計と風向計があり、風の吹く強さや向きによって風車羽の角度や向きを自動で変えます。到着時は、風が弱く風車が止まっていたましたが(風速4m以下では回らない設計としています)、少しすると風が出て、風車がグングンと力強く回り始めました。風車の大きなブレードが回る風切り音や迫力を体感することができました。

今年も、厳選なるジャンケンの結果、参加者に人気のタワーの上のナセルに昇る体験を千葉単協の小林友子さん(写真)が行いました。



・ 芹田自治会と加工用トマト圃場見学



生活クラブ風車の土地をお貸し頂いている芹田自治会で荒川自治会長、遠藤営農組合長にご対応いただき、お話を伺いました。

荒川自治会長からは、生活クラブや他の方たちが、地方のこの地区におおぜい訪れて交流ができていることで、地域が活性化していること、新しい自治会館建設に当たって屋根に太陽光を載せて、いつでもだれでも来られる居場所として冬場の暖房を入れても収支ゼロを実現したことなど、をお話いただきました。

遠藤組合長からは、生活クラブのトマトケチャップの原料となる加工用トマトの栽培について、露地栽培で天候に左右されることや、収穫時の苦労などをお聞きしました。組合員からは、大変だけれども、国産加工用トマトが減少している中で、是非、産地として今後も続けてほしいとの声がありました。今年の生育は順調とのことですが、これから赤くなる青い実がたくさんなっていました。

・ 伊藤製麺所の工場見学

伊藤製麺所では伊藤実代表に案内いただき、2チームに分かれて工場の見学を行いました。夕方の時間で本日の製造は終了してしまっていました。工程に沿った写真と、実際の機械を見ながら、製造工程を説明頂きました。

まず、タラーメンの生地をこねて、じっくり熟成させます。その生地をゆっくりとストレスをかけないように薄く伸ばして、麺にします。熟成とゆっくり伸ばすことで、麺のモチモチ感とこしがうまれます。

麺は棒にかけられて2階の乾燥室へ、湿度と温度を管理しながら時間をかけて乾麺となります。

乾麺を裁断する刃には、組合員の皆さんもびっくりしていました。



省エネ講座「親子で自然エネルギーの工作」

生活クラブのエネルギー政策、エネルギーを「減らす、つくる、つかう」の中でも省エネは最も大切です。㈱生活クラブエナジーでは、生活クラブでんきの小売り事業と省エネ講座を実施しています。講座の中でも、夏休みは親子で自然エネルギーの工作づくりが人気で、各地域の生活クラブで行われています。



7/23 (火) 生活クラブ千葉の「おおたかの森デポ」で行われた省エネ講座を紹介します。この日は、身近なペットボトルを使って風車をつくり、風の力で電気を作ることができることを、親子で学びました。羽が良く回ると発電して赤いLEDライトが点くのですが、羽の厚さや長さ、向きなどによって、回り方が違います。子供たちは、一生懸命に羽を工夫したり、必死に団扇であおいだりして、ペットボトル風車は大成功でした。自然の力で、電気を作ること大変だけれども「できる!」という事を楽しんで学びました。

また、省エネ紙芝居では、冷蔵庫を開ける前に何を出すか考えてから開ける、電気はつけっぱなしにしない、など自分のできることを考えました。

日本海花火フェスティバル in にかほ第70回記念大会

雨天で順延となりましたが、2018年8月17日(金)に象潟海水浴場で花火フェスティバルが開催されました。

この花火大会は、1948(昭和23)年から始まった伝統のある花火大会で、元々は、旧盆の送り火にあわせて始まった大会です。象潟海岸いっぱいに広がるナイアガラは、長さ350mものスケールで、東北きっての名山・鳥海山をイメージしているといえます。目の前に流れ落ちる光の滝は必見です。

また、海上スターマインは、海面に映る様子が観客からきれいに見えるように計算されて打上げられているとのことです。

今年は、70回記念大会とのことで、空中ナイアガラ花火が行われました。

グリーンファンド秋田でも、この花火大会に協賛しています。今年は、「生活クラブ生活協同組合」という名前です。どんな花火が打ち上げられたのでしょうか。にかほの皆さんに楽しんでいただけたらと思います。

万代と利那の出会い

日本海花火フェスティバル in にかほ
第70回記念大会 (雨天順延)
平成30年8月16日(木) 象潟海水浴場

17時	盆踊り
17時30分	70回記念イベント
18時	フラダンスショー
18時40分	開会セレモニー
19時	花火打ち上げ
19時	70回記念空中ナイアガラ メッセーシ花火

主催 (一財) 秋田県観光振興協会
後援 にかほ市、にかほ市商工会
実行委員会 観光課 0184-33-6600
会場 象潟海水浴場(象潟海水浴場)
公式サイト www.naikaho-festival.com
ポスターデザイン (一財) 秋田県観光振興協会 小野寺昌典